



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

● サステナビリティ基本方針

サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して

サステナビリティ担当役員メッセージ

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス





第三者保証

企業情報

サステナビリティ基本方針

私たちNTTコミュニケーションズグループは、サステナブルな未来の実現に向け、“Your Value Partner”として、人と世界の可能性をひらくまだ見ぬコミュニケーションの創造を通じて、社会課題の解決や新たな価値の創発に取り組みます。

サステナビリティ基本方針の重点領域と「目指す未来」

 <p><b>社会</b></p> <p>イノベティブで活気にみち、強靱で安心・安全、そして価値創発で持続的に発展するよりよい未来</p> <p>詳細はこちら <a href="#">P.029</a></p>	 <p><b>環境</b></p> <p>カーボンニュートラルで、資源が循環し、生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来</p> <p>詳細はこちら <a href="#">P.044</a></p>	 <p><b>人材</b></p> <p>多様性に富み、誰もが尊重され共に高め合い、社会に応じて自分らしく活躍できる未来</p> <p>詳細はこちら <a href="#">P.082</a></p>	 <p><b>ガバナンス</b></p> <p>高い倫理観と確固としたガバナンスのもと、常に信頼され、多彩な共創がサステナブルな社会を織りなし、紡ぐ未来</p> <p>詳細はこちら <a href="#">P.113</a></p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



NTTグループの一員としてSDGsに賛同



2016年度、NTTグループは国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同を表明しました。これを受け、私たちも2016年度よりNTTグループの一員としてSDGsに貢献する取り組みを推進しています。サステナビリティ研修などを行い、社内全体でSDGsの理解浸透を深め、SDGsの目標に紐づいたサステナビリティ重点活動項目などの事業活動を通じて、SDGsの目標達成に貢献していきます。





CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

サステナビリティ基本方針

● サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して

サステナビリティ担当役員メッセージ

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

# サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して

NTTコミュニケーションズグループは、ますます深刻化する気候変動問題をはじめSDGs／ESGをめぐる内外の動向やそれらに伴う事業環境の変化、未来社会を支える先端技術の動向などを踏まえ、2021年5月、従来の「CSR基本方針」を改定し、「サステナビリティ基本方針」を策定しました。

この基本方針は、「社会」「環境」「人材」「ガバナンス」の4領域を重点領域とし、領域ごとに「目指す未来」を掲げるとともに、その実現に向けた12の重点活動項目と関連する主要推進事項、2030年カーボンニュートラル(Scope1,2)の実現といった目標、各種KPIを定めています。

私たちは、お客さま・パートナーをはじめさまざまなステークホルダーの皆さまと共創しつつ、一連の重点活動の推進とPDCAサイクルによるサステナビリティマネジメ

ントにより、私たちの事業機会や成長機会の創出とリスクの低減に戦略的かつ的確に取り組み、自らの事業活動がもたらすバリューチェーン全体を通じた社会への「正の影響」の一層の強化と「負の影響・リスク」の最小化を図ります。そして、その積み重ねの中であらゆる壁を乗り越え、社会全体のDX、WX\*、GX、SXに加え、BtoBの先を見据えたCXを推進し、企業価値の持続的向上と「SDGs達成への貢献」、その先の「サステナブルな未来」の創造に取り組んでいきます。

\* ワークスタイルトランスフォーメーション

**P.011** マテリアリティ特定プロセスは、レポート内「重点活動項目(マテリアリティ)の特定・設定および主要推進事項、指標(KPI)・目標の設定プロセス」をご覧ください

**P.006** サステナビリティ基本方針については、レポート内「私たちが目指す社会」をご覧ください

## サステナビリティ基本方針の重点領域における重点活動項目



社会

イノベティブで活力にみち、強靱で安心・安全、そして価値創発で持続的に発展するよりよい未来

### 重点活動項目

- 社会と未来をつなぐDXの推進
- 限界を打破するイノベーションの推進
- ICTのトランスフォーメーション
- コーポレートシチズンシップの推進



環境

カーボンニュートラルで、資源が循環し、生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来

### 重点活動項目

- 脱炭素社会の推進
- 循環型社会の推進



人材

多様性に富み、誰もが尊重され共に高め合い、社会に応じて自分らしく活躍できる未来

### 重点活動項目

- 人材の育成
- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進
- 人権の尊重



ガバナンス

高い倫理観と確固としたガバナンスのもと、常に信頼され、多彩な共創がサステナブルな社会を織りなし、紡ぐ未来

### 重点活動項目

- コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底
- バリューチェーン・パートナーシップの充実
- 情報セキュリティの継続的強化



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

サステナビリティ基本方針

サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して

● サステナビリティ担当役員メッセージ

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

# 皆さまに驚きと感動をもたらすICT企業として、サステナブルでWell-Beingな未来社会の構築に取り組みます。

常務執行役員 佐々木 祐二



サステナビリティは、地球環境問題をはじめ、世界中長期的なありかたに関わり、私たちのこれからの生活そのものに直結する課題です。NTTコミュニケーションズは、NTTグループ、ドコモグループの一員として、企業理念「人と世界の可能性をひらくコミュニケーションを創造する」の下、サステナビリティ基本方針で掲げる、社会、環境、人材、ガバナンスの4つの重点領域について、12の重点活動項目(マテリアリティ)を定め、その具体的な41のKPIの達成に全社一丸となって取り組んでいます。

DXとGXはこれからの日本経済の成長の柱であると言われていています。NTTコミュニケーションズは、光電融合技術による低消費電力のIOWN<sup>®</sup>や小型低消費電力のAIである「tsuzumi」を活用したサービスを既に提供しているほか、AI時代に爆発的な電力消費が予想されているデータセンターについて省電力液冷式サーバー対応の「Green Nexcenter<sup>®</sup>」がまもなく始まるなど、最先端の技術分野においてもGXを進めています。

また、NTTコミュニケーションズは、お客さま、パートナーをはじめとするステークホルダーの皆さまとサステナブルなデジタル社会の共創に取り組んでおります。共

創プラットフォームであるOPEN HUBを通じて、創設以来3年間で新たに総合インフラマネジメントJCLaaS、デジタルBPO、陸上養殖、森林価値を創造する森かちなど1,000件を超える共創が生まれています。先端技術を駆使して提供するSmart WorldやSmart Data PlatformなどのDXソリューションに加え、ゼロトラストでセキュアかつ柔軟に設定できるネットワークサービス「docomo business RINK<sup>®</sup>」について帯域保証型サービスが始まり、ステークホルダーの皆さまとともにサステナブルな社会の構築を進めております。

これらは、社員一人ひとりが持続的に能力を発揮し、社会の要請に応じて自分らしく活躍することを通じて実現できるものです。NTTコミュニケーションズでは、自律的なキャリア開発を重視しており、社内外の研修を充実させるとともに、AIを活用して個の人材開発を支援する「BoostPark」を展開しています。また、女性活躍を含めた多様で包摂的な人材戦略を進めるとともに、人権の尊重、高い企業倫理の企業風土づくり、ステークホルダーとの対話などを通じレジリエントでセキュアなガバナンス体制を推進しています。

2024年には、サステナブルな未来社会を一層強力に切

り開いていくため、KPIをいくつか見直しました。社会領域では、デジタルソリューションを提供した顧客エンゲージメント(NPI、NPS)の向上、環境領域では、GHG排出について2040年のScope3を含めたネットゼロ、データセンターで使用する電力のグリーン化、人材領域では、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを推進するためこれまでの女性新任管理職割合に加えて女性役員割合、ガバナンス領域では、ステークホルダーとの対話をNPOにも拡大することを新たに定めることといたしました。

4つの重点領域の活動を推進し、PDCAサイクルによるサステナビリティマネジメントを行うことにより、新たな事業機会・成長の機会の創出と事業リスクの最小化を図ってまいります。これらの活動を着実に推進するため、昨年度から、GHG排出量、顧客エンゲージメント率など特に重要なKPIについて全管理職の報酬に連動させることとしています。

私たちNTTコミュニケーションズは、ICT企業として世界の皆さまからの期待に応えるため、これからも事業活動を通じステークホルダーの皆さまと協働して、驚きと感動のあるサステナブルなWell-Beingな未来社会の構築に取り組んでまいります。